

[お詫びと訂正]

論文訂正：【資料】「川崎市の精神保健福祉法第 23 条通報における複数回通報事例の特性と地域生活支援の必要性について」

精神神経学雑誌 第 123 巻第 11 号 p.721-731, 2021 掲載【資料】「川崎市の精神保健福祉法第 23 条通報における複数回通報事例の特性と地域生活支援の必要性について」小池純子, 他 の以下の部分に誤りがございました。著者より訂正の希望がありましたので, ここにお詫びとともに訂正いたします。

訂正後の論文は, オンラインジャーナルの下記 URL に掲載しております。

<https://journal.jspn.or.jp/Disp?style=ofull&vol=123&year=2021&mag=0&number=11&start=721>

また, 訂正前の論文も同論文の「補足情報」として掲載しております。

訂正日：2025 年 7 月 25 日

1. 訂正理由

表 2「自傷他害の区分」の数値について, 著者によるデータ処理手続きの誤りがあったため, 下記のように訂正がなされました。また, 著者が最終版のデータセット作成後も, 最終版以前のデータセットを用いた統計解析結果を使用したため, 複数の基礎データで訂正が必要となりました。

2. 表 2「自傷他害の区分」の数値の正誤表

訂正前)

項目	総数		複数群		単数群		χ^2	P	
	n	%	n	%	n	%			
自傷他害の区分 (n=562)	自傷コア群	29	5.2	5	5.1	24	5.2	2.139	0.544
	他害コア群	62	11.0	10	10.2	52	11.2		
	自傷・他害群	183	32.6	38	38.8	145	31.3		
	非コア群	288	51.2	45	45.9	243	52.4		

訂正後)

項目	総数		複数群		単数群		χ^2	df	P	
	n	%	n	%	n	%				
		(n=562)		(n=98)		(n=464)				
自傷他害の区分	自傷コア群	181	32.2	40	40.8	141	30.4	4.415	3	0.220
	他害コア群	124	22.1	21	21.4	103	22.2			
	自傷・他害群	109	19.4	16	16.3	93	20.0			
	非コア群	148	26.3	21	21.4	127	27.4			

*数値の誤りを青マーカーで表記した。任意で加えた項目を, 灰色マーカーで表記した。

3. その他, 表中の数値の正誤表

【誤りの内容と理由】

表	項目	内容	訂正前	訂正後	理由
1	不実施理由 病状が安定している	(単数群) %	3.6	3.5	数値の端数処理に伴うズレ
2	自傷他害の区分	総数の n	記載なし	562	正確を期すため追加
2	自傷他害の区分	複数群の n	記載なし	98	正確を期すため追加
2	自傷他害の区分	単数群の n	記載なし	464	正確を期すため追加
2	自傷他害の区分	df	記載なし	3	正確を期すため追加
2	事前調査結果	総数の n	記載なし	748	正確を期すため追加

表	項目	内容	訂正前	訂正後	理由
2	事前調査結果	複数群の n	記載なし	143	正確を期すため追加
2	事前調査結果	単数群の n	記載なし	605	正確を期すため追加
2	事前調査結果	df	記載なし	2	正確を期すため追加
2	緊急措置診察結果	総数の n	記載なし	189	正確を期すため追加
2	緊急措置診察結果	複数群の n	記載なし	32	正確を期すため追加
2	緊急措置診察結果	単数群の n	記載なし	157	正確を期すため追加
2	緊急措置診察結果	df	記載なし	4	正確を期すため追加
2	措置診察結果	総数の n	記載なし	497	正確を期すため追加
2	措置診察結果	複数群の n	記載なし	86	正確を期すため追加
2	措置診察結果	単数群の n	記載なし	411	正確を期すため追加
2	措置診察結果	df	記載なし	4	正確を期すため追加
2	措置解除後処遇	総数の n	記載なし	343	正確を期すため追加
2	措置解除後処遇	複数群の n	記載なし	58	正確を期すため追加
2	措置解除後処遇	単数群の n	記載なし	285	正確を期すため追加
2	措置解除後処遇	df	記載なし	3	正確を期すため追加
2	措置解除後処遇 退院	(単数群) %	20.3	20.4	転記ミス
3	年齢	総数の n	記載なし	667	正確を期すため追加
3	年齢	複数群の n	記載なし	62	正確を期すため追加
3	年齢	単数群の n	記載なし	605	正確を期すため追加
3	年齢	(複数群) 平均	37.3	37.6	転記ミス
3	年齢	(複数群) 標準偏差	12.6	12.8	転記ミス
3	年齢	t	3.981	2.680	転記ミス
3	年齢	df	記載なし	84.687	正確を期すため追加
3	年齢	P 値	0.001	0.009	転記ミス
3	年齢階級	df	記載なし	8	正確を期すため追加
3	性別	df	記載なし	1	正確を期すため追加
3	性別	P 値	0.511	0.501	Fisher 検定結果の採用 → χ^2 検定結果の採用
3	保険区分	df	記載なし	6	正確を期すため追加
3	家族状況	χ^2	0.290	2.290	転記ミス
3	家族状況	df	記載なし	3	正確を期すため追加
3	過去の通院歴	df	記載なし	2	正確を期すため追加
3	治療経過	df	記載なし	4	正確を期すため追加
3	措置入院歴	df	記載なし	2	正確を期すため追加
3	措置入院歴	P 値	0.001	<0.001	転記ミス
3	措置診察時診断	総数の n	記載なし	513	正確を期すため追加
3	措置診察時診断	複数群の n	記載なし	49	正確を期すため追加
3	措置診察時診断	単数群の n	記載なし	464	正確を期すため追加
3	措置診察時診断	χ^2	24.467	24.153	転記ミス
3	措置診察時診断	df	記載なし	11	正確を期すため追加
3	措置診察時診断	P 値	0.018	0.012	転記ミス

4. 本文の正誤表（数値の訂正に伴う本文の訂正）

雑誌頁	区分	項目名	訂正前	訂正後
721	日本語抄録	結果	診断は精神病圏以外の障害である F5(生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群, 2.0%), F6(成人のパーソナリティおよび行動の障害, 16.3%), F7(知的障害, 8.2%) の割合が高かった ($P=0.018$).	診断は精神病圏以外の障害である F5(生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群, 2.0%), F6(成人のパーソナリティおよび行動の障害, 16.3%), F7(知的障害, 8.2%) の割合が高かった ($P=0.012$).
731	英文抄録	Result	F7 (Mental retardation, 8.2%) as coded in the International Classification of Diseases Tenth Revision (ICD-10) ($\chi^2=24.467$, $P=0.018$).	F7 (Mental retardation, 8.2%) as coded in the International Classification of Diseases Tenth Revision (ICD-10) ($\chi^2=24.153$, $P=0.012$).
726 左	本文	II. 結果 2.4) →4.	F7(知的障害, 8.2%) の割合が, 単数群に比して高かった ($\chi^2=24.467$, $P=0.018$).	F7(知的障害, 8.2%) の割合が, 単数群に比して高かった ($\chi^2=24.153$, $P=0.012$).
726 左	本文	II. 結果 2.4) →4.	ただし, 年齢は複数群のほうが低いことが示された ($t=3.981$, $P<0.001$).	ただし, 年齢は複数群のほうが低いことが示された ($t=2.680$, $P=0.009$).

5. 本文の正誤表（その他の誤植）

雑誌頁	区分	項目名	訂正前	訂正後
721	日本語抄録	目的	(警察官通報 (以下, 23 条通報))	(警察官通報 (以下, 23 条通報))
731	英文抄録	Result	and“direct discharge from involuntary hospitalization by the prefectural governor without transferring to another form of admission” ($\chi^2=9.703$, $P=0.021$), compared to the single group.	and“direct discharge from involuntary hospitalization by the prefectural governor without transferring to another form of admission” ($\chi^2=9.703$, $P=0.021$), compared to the single group.
722 右	本文	はじめに	23 条通報は, 神奈川県と県内 3 つの指定都市の 4 県市が協働して実施している精神科救急医療体制の一環として対応している.	23 条通報は, 神奈川県と県内 3 つの指定都市の 4 県市が協調して実施している精神科救急医療体制の一環として対応している.
722 右	本文	はじめに	夜間休日の場合は, 発生事例全件を神奈川県精神保健福祉センター警察官通報受付窓口が受け付け,	夜間休日の場合は, 発生事例全件を 4 県市協調で運営する警察官通報受付窓口が受け付け,
726 左	本文	II. 結果 1. 複数群と単数群の通報件数	性別は, 男性が 31 名, 女性が 32 名であった.	性別は, 男性が 30 名, 女性が 33 名であった.
726 左	本文	II. 結果 2.	単数群のそれよりも警察官による通報の取り下げが多い傾向がみられた.	単数群のそれよりも警察官による通報の取り下げが少ない傾向がみられた.
726 左	本文	II. 結果 見出し番号	3) 通報ごとの診察結果, および措置解除後の転帰について (表 2) (2. 事前調査結果……の下位)	3. 通報ごとの診察結果, および措置解除後の転帰について (表 2) (2. 事前調査結果……と同格)
726 左	本文	II. 結果 見出し番号	4) 複数群と単数群の事例特性について (表 3) (2. 事前調査結果……の下位)	4. 複数群と単数群の事例特性について (表 3) (2. 事前調査結果……と同格)
728 左	本文	III. 考察 2.	措置解除後に直接退院をした者に注目して, 生活支援の必要性のアセスメントの試行が望まれる.	措置解除後に直接退院をした者に注目した, 生活支援の必要性のアセスメントの試行が望まれる.